

高梁市 TAKAHASHI CITY

# 議会だより



平成23年12月高梁市議会（定例）

## 主な内容

- 12月定例会・主な議案 …………… 2
- 一般質問 …………… 3～10
- 委員会報告のあらまし …………… 11
- お知らせ・編集後記 …………… 12

「とんど焼き」とは、小正月（こしょうがつ＝1月15日）の行事で、正月の松飾り・注連縄（しめなわ）・書き初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やし、残り火でお餅を焼いて食べるというもので1月15日前後に全国各地で行われます。

「とんど焼き」の火にあたり、焼いたお餅を食べれば、その1年間健康でいられるなどの言い伝えもあり、無病息災（むびょうそくさい）・五穀豊穰（ごこくほうじょう）を祈る年中行事です。

備中町平川地区の「とんど焼き」は、コミュニティ活動の一環として15年前に復活し、今では、同地区の冬の風物詩であり地域行事として定着しています。

# 12月定例議会・一般質問の概要

## 市政のここが聞きたい！

### 一般質問

12月定例議会では、12月9日・12日・13日の3日間にわたり、13名の議員がそれぞれの視点・観点から一般質問を行いました。

掲載している各議員の記事は、質問者自らが作成したものです。

発言順	議員名	質問事項
1	田中 広二	・市長の政治姿勢を問う ・成年後見制度について ・市有財産の活用について
2	内田 大治	・農業振興の施策について ・定住対策について
3	三上 孝子	・安心できる介護保険制度について ・障害者福祉について ・国に対し継続及び制度化を求めること ・安全・安心な暮らしを求めて
4	難波 英夫	・市長の政治姿勢について ・国の悪政に市長の見解を明らかにし、国に対して反対を申し入れること ・備中高梁駅バリアフリー化・駅前広場整備事業について ・本市の農林業の振興について ・地域の活性化について
5	植田 二郎	・東日本大震災に対する諸課題について ・農業振興について ・平成24年度の予算編成について
6	小林 重樹	・教育行政について ・産業振興と行政施策について
7	妹尾 直言	・市長の政治姿勢について ・地域医療の取り組み方について ・川上中学校の耐震工事について
8	宮田 公人	・教育行政について ・セニアカー購入、バッテリー交換補助金創設について ・単市農機具購入補助金の創設について ・消防団活動における団員の安全確保対策について ・朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の、これまでの経過と今後の課題について
9	川上 博司	・介護保険制度改定に向けた取り組みについて ・不育症治療の助成について ・人口減少の歯止め対策について
10	柳井 正昭	・災害時の職員配置と地域局機能について ・災害時における市道等の管理について ・重要施策の経過と結果及び今後の方向とその対策について
11	大森 一生	・高梁市のビジョン、方向性について ・高梁市の地域再生・産業振興について
12	宮田 好夫	・地域コミュニティの維持について ・産廃処分場計画について
13	長江 和幸	・教育行政について ・備中やすらぎの里多目的広場について ・市長と子どもの座談会について ・高梁市総合文化祭について

平成23年12月高梁市議会（定例）は、12月5日から22日までの18日間の会期で開催され、平成23年度一般会計補正予算など議案26件と請願1件を審議し、市長提出の議案26件のすべてを可決しました。

また、9日から13日に行われた一般質問では、議員13名が41項目にわたって質問しました。



平成23年12月定例議会の議決結果

議案番号	議案第97号	議案第98号	請願第4号
件名	高梁地域事務組合規約の変更について	平成23年度高梁市一般会計補正予算（第3号）	原発からの撤退を求める意見書提出を求める請願書
大森	●	○	●
森田	○	○	●
宮田好	○	○	○
内田	○	○	●
小林	○	○	○
柳井	○	○	●
田島	○	○	●
長江	○	○	●
細川	○	○	●
丸山	○	○	●
倉野	○	○	●
植田	○	○	○
川上	○	○	●
宮田公	●	○	●
田中	●	○	●
大月	○	○	●
三上	○	●	○
妹尾	●	○	●
山縣	○	○	●
村上	○	○	●
難波	○	●	○

※他の議案は全会一致で可決  
○賛成、●反対

# 平成23年12月 定例議会 主な議案の概要

**●高梁地域事務組合規約の変更について**  
吉備中央町のうち加茂川町区域の一般ごみの処理を高梁地域事務組合で行うため、組合規約を改正するものです。質疑では合併協議会の経過もあり、今まで処理してきた岡山市が受け入れが難しくなってきたため、高梁市へ持つてくるといっては、納得できないという反対意見がある一方、吉備中央町の立場や現行のご

**●平成23年度高梁市一般会計補正予算（第3号）**  
今年度一般会計に3億6814万1千円を追加するもので、住宅リフォーム事業費補助金（600万円）や高校生バス通学費補助金（370万円）

**●平成23年度高梁市一般会計補正予算（第4号）**  
9月議会で継続審査としていた原水爆禁止高梁地区協議会から提出された請願で、採決の結果、不採択となりました。

**●原発からの撤退を求める意見書提出を求める請願書（請願第4号）**  
9月議会で継続審査としていた原水爆禁止高梁地区協議会から提出された請願で、採決の結果、不採択となりました。

防犯灯設置費補助金（300万円）などの拡充予算や台風12号関連の災害復旧事業、単市道路改良事業の予算、東日本大震災により犠牲となった消防団員の遺族への見舞金（市負担分3420万円）などが含まれています。

今年度一般会計に1686万5千円を追加するもので、人事院勧告に基づき、市の職員の月例給与を平均0.23%引き下げ、減額予算や岡山県地域支え合い体制づくり事業（約1600万円）によるコミュニティ施設として、各地域に器具、備品を整備するための予算などで、全会一致で可決しました。

**問 国の悪政にキッパリ反対を!**

難波英夫 議員

**答 住民が納得できる制度となるよう求めたい**

**市長の政治姿勢について**  
 難波 あと10カ月の任期中に取り込む最重要課題は何か。3年前の市長選での「マニフェスト」「がんばろう高梁」の政策は実現されているのか。  
 市長 高梁市を改革する気持ちは変わっていない。残り10カ月での重点は定住政策である。平成24年度予算で方向性を出したい。

**国の悪政に対する見解を明らかにするとともに、国に反対を申し入れること**  
 市長 この財源はこう使うといながら他に転用することはルール違反だ。そのようなことがあ



地域の農業を守る

**難波** TPPへの参加は、市民を幸せにすることはありませぬ。今、大事な時です。明確な反対表明と国へ反対を申し入れること。  
 市長 中山間地域の農業に配慮のある方が示されないう限り反対の立場だ。

**難波** 備中高梁駅バリアフリー化をまず先に、高齢者や障害者が安心して利用できる安全な駅とすることを優先し、駅前広場整備については、今後の東側駅前整備との関連を考慮しつつ慎重に研究・検討をして市民合意を図るべきではないか。  
 総務部長 駅のバリアフリー化と駅前広場整備は切り離して考えたい。

**問 安心できる介護保険制度に保険料・利用料の引き上げストップを!**

三上孝子 議員

**答 大幅な引き上げにならないよう努める**

**介護保険制度について**  
 三上 介護保険制度がスタートして11年。保険料の引き上げは続き、その上年金からの天引き。一方、施設入所待ちは三百数十人と一向に解消されません。安心して利用できる介護保険となるよう求める。  
 市民生活部長 来年の第5期事業計画に向け市民アンケートをとり、現在計画策定に取り掛かっている。その中で考えたい。  
 三上 要支援1、2の介

**認定者の介護サービスについて**  
 三上 11月の広報紙に概要説明が載っているが、「私の老後はどうなるのか」と心配される方も多

**市民生活部長** 本人の意向を踏まえ決定する考え方をしている。  
 三上 11月の広報紙に概要説明が載っているが、「私の老後はどうなるのか」と心配される方も多

**市民生活部長** 困難である。  
 三上 高齢者、市民が安心して、施設であれば在宅で必要なサービスが受けられる体制づくりが必要ではないか。  
 市民生活部長 介護保険制度の基本を守りながら、高梁なりの計画を考えたい。  
 三上 県内で高齢化率が

**市民生活部長** 県からの返還額は、4000万円、市の基金積立額は2億5000万円である。全額を保険料軽減に投入できないが、大幅な引き上げにならないよう活用した。  
 難波 備中高梁駅バリアフリー化をまず先に、高齢者や障害者が安心して利用できる安全な駅とすることを優先し、駅前広場整備については、今後の東側駅前整備との関連を考慮しつつ慎重に研究・検討をして市民合意を図るべきではないか。  
 総務部長 駅のバリアフリー化と駅前広場整備は切り離して考えたい。



**問 定住促進対策は喫緊の課題ではないか**

内田大治 議員

**答 最重要課題として取り組む**

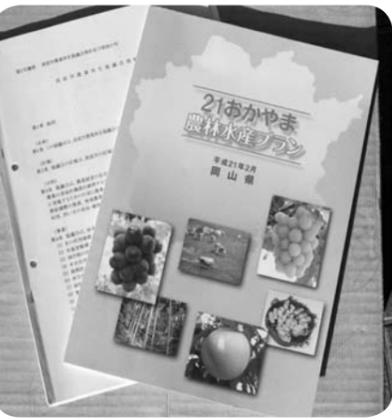
**農業振興の施策について**  
 内田 本市は、農業を基幹産業として位置づけ、さまざまな施策を推進しているが、国・県の施策を推進するのみで市独自のビジョンや施策が見えない。  
 県では「21おかやま農林水産プラン」を策定し、県としての方針

**と取り組みを示している**  
 内田 「TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入る」との政府方針により、農家は大きな影響を受けるといわれる。農業に対し、不安が拡大している。県では「政策推進会議」を開いている。市として国・県の決定を待つのではなく積極的に

**産業経済部長** 国のプランに基づき、さまざまな施策を行っている。そして、高梁市に合った農業と組み合わせ、地域の農業に取り組んでいる。  
 内田 「TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入る」との政府方針により、農家は大きな影響を受けるといわれる。農業に対し、不安が拡大している。県では「政策推進会議」を開いている。市として国・県の決定を待つのではなく積極的に

**情報収集し、確認し対策を取るべきではないか**  
 市として対応する姿勢を示してほしい。  
 市長 産業としての農業、生きがいとしての農業に分けて施策を考える。それぞれの課題について、平成24年度以降、高梁市農業再生協議会へ諮り施策を考え、農家に方向を示していく。  
**定住対策について**  
 内田 昨年実施の国勢調査結果で、本市は人口減少率が県下最高の9.8%で

**市長** 定住対策は、市の最も重要な課題であると考えている。来年度は、市内の空き家を募って、移住希望者に情報提供する取り組みを強化して行きたい。



岡山県の「21おかやま農林水産プラン」

**問 イングリッシュヴィレッジ構想について**

田中広二 議員

**答 多文化交流の取り組みで、英語教育の推進を図りたい**

**市長の政治姿勢を問う**  
 吉備国際大学との関わりについて  
 田中 イングリッシュヴィレッジ構想の顛末について、高梁版としてどのように取り組むのか。方向性と具体的なこれまでの経過を問う。  
 市長 本年度、イングリッシュキャンパス多文化交流の取り組みで英語教育の推進を図りたい。  
 田中 美術修復村構想の行方はどうか。  
 市長 定住を第一義とし

**て、ベンガラ、備中漆の活用等で大学と早急に協議したい。**  
 田中 南あわじ市に開学の吉備国際大学農学部について説明を求める。  
 市長 正式には新聞記事で初めて知ったことである。農学部の設置については正式な場での協議要請はなかった。  
**旭川荘との関わりについて**  
 田中 成羽高校跡地利用について現在の状況を問う。

**市長** 旭川荘との協議が中断している。福祉関係の活用を前提として、早急に協議を再開したい。  
**成年後見制度について**  
 田中 来年4月の改正福祉法の施行を控える中で、本市の対応を問う。  
 市民生活部長 本市は市民後見人の養成に4人の応募があり、岡山県の中で6市町が参加している中の、1市として取り組んでいる。  
**市有財産の活用について**  
 田中 普通財産は市の行

**政に有効に活用するため管理処分されるべきではないか。また、現状の把握はできているのか。**  
 総務部長 行財政改革の中で処分すべき物は実態を調査し、老朽化した建物は順次計画的に撤去したい。予算の関係で一度には決着

**できないが、順次処分を行う。**



放置されている旧坂本小学校校舎

**問 給食現場に放射能測定器を!**

植田二郎 議員

**答 平成24年度予算で取り組む**



水素爆発した3号機 (提供: 東京電力)

**今後のエネルギー政策のあり方について**  
植田 3月11日に発生した地震と津波の事故で、福島原発では大量の放射性物質が放出され、多くの人の健康・農業・漁業などに膨大な影響を及ぼしている。政府は1kwあたりの発電コストを、原子力は5〜6円かかるといいます。

者達の試算では10円70銭で、事故のリスクを含めればその3倍以上になると指摘している。またそこで働く人たちは大量の放射能を浴びている。危険な原子力政策を中止するよう国に働きかけるべきだ。加えて微量の放射能を含んだ「瓦礫」の処理が問題となっているが市内には受け入れられないようにされたい。さらに、食品の汚染には警戒し、特に子どもを守る観点から学校給食現場に放射能

測定器を購入するべきだ。市長 人間がコントロールできない危険な原発依存度を縮小し、自然エネルギーへの転換を図るよう求めていきたい。また政府から「瓦礫」の受け入れの打診があったが、受け入れできないと回答した。今後、市として放射能物質の市内持ち込みを拒否する対策を取りたい。

植田 高梁市は農業を基幹産業として位置づけ、取り組んでいるが、人口の維持・拡大の観点から休耕地や空き家を利用した取り組みを全国にPRし、さらに生きがいとして営む農業支援の観点から鳥獣被害対策に本腰を入れると同時に、個人向け耕作機械等に対す

る助成を考慮するべきではないのか。産業経済部長 Iターン等、県の施策に合せ取り組む。また、生きがいとして営まれていく農家への支援も検討したい。植田 平成24年度の予算編成については、市民生活を支援することを基本理念とし主要施策を決定し、積極財政を講じられたい。

**問 学生マンションの空き部屋対策を!**

小林重樹 議員

**答 支援のあり方を検討していく**

小林 消費の落ち込みは、近年特にひどく、その要因としてリーマンショック以降の景気の落ち込み、急激な円高による輸出産業への打撃などが上げられる。そして、本市における最大の理由は人口減少である。

空室率が40%を超え、オーナーさんは身銭を削りローンの支払いに充てられており、生活を切り詰めている。マンションにかかる固定資産税の空室率による減免は考えられないか。総務部長 学生マンションは学生の増加に対して住居の確保の観点から援助してきたところであり、平成24年度においてこの制度は終了する。

実であり、多くのマンション所有者が今の状況を危惧しておられることも認識している。今後どの方向に持つていくのがいいのか、心配されている方々と面談を行い、意見交換をしたところである。その中で新しい観点から世帯向けに改造する、または、ほかの用途に有効活用するなど、そういった意味での支援ができないか、現在検討しているところである。

(岡山市5区内市町の人口推移) (単位: 人, %)

	人口の推移			75歳以上人口の増減率(2025/2010)
	2010年	2025年	増減率(2025/2010)	
岡山市	1,945,276	1,808,188	▲7	39
岡山市	709,584	702,224	▲1	54
倉敷市	475,513	454,865	▲4	66
笠岡市	54,225	46,949	▲13	20
井原市	43,927	36,380	▲17	13
総社市	66,201	61,938	▲6	47
高梁市	34,963	29,087	▲17	▲5
新見市	33,870	26,207	▲23	▲5
真庭市	48,964	38,894	▲21	2
浅口市	36,114	32,335	▲10	40
里庄町	10,916	9,867	▲10	45
矢掛町	15,092	12,720	▲16	15
吉備中央町	13,033	10,872	▲17	▲7

(注) 国勢調査の数値及び国立社会保障・人口問題研究所の推計値。

**問 駅前広場の整備と駅の橋上改札、バリアフリー化整備について**

妹尾直言 議員

**答 都市マスタープランを策定し、総合的な観点から考えたい**

一貫した筋の通った行政運営をすべきである。妹尾 駅前広場の整備と駅の橋上改札整備と駅のバリアフリー化整備について、9月議会では、多くの議員から問題点を指摘されたにもかかわらず、11月までは断固行わずと言明しておいて、12月議会の冒頭には、とりあえずバリアフリー化だけを行うと言ったり、その他多くの施策についても、方針がコロコロ変わって一貫性がない。高梁

市をどのような方向にもっていくのか、しっかりと理念のもとに筋の通った行政運営をすべきである。市長 日本政策投資銀行のシンクタンクにお願いして、都市マスタープランを策定し、総合的な観点から駅の整備等は考えたい。

特に川上・備中地域においては、住み続けるために、医療体制の整備は欠かせないものであり、現在は旭川荘による指定管理という形態で支えられている。医療を医療機関だけに頼るのではなく、民間組織(NPO)も立ち上がり地域の医療を守ろうと行動している。この動きに対して行政としてどのように取り組む用意があるのか。市長 地域医療は大変大

事であり、最善の努力をし取り組んでいこうと考えている。川上中学校は現在地で維持すべきである。妹尾 過疎高齢化社会が進む中、世代をつないで築き、守り、伝統文化に支えられてきた地域社会(コミュニティ)の重要な位置を占めている川上中学校を移転するのはコミュニティを崩壊させることになる。教育長 川上中学校は耐震上、非常に危ない状態



川上中学校校舎全景

論は出していない。にあり、耐震工事をしなければならぬ。生徒にとつて一番良い方向を考えていくことで、また結論は出していない。

**問 幼稚園での給食スタートに向けた対応は?**

宮田公人 議員

**答 来年度から、5幼稚園で給食を実施する**



幼稚園のお弁当

幼稚園給食スタートに向けて 宮田 幼稚園での給食スタートに向けて聞き取り

調査を開始されているが、来年度に向けてどのような対応を取るのか。教育長 保護者が希望さ

れて、小学校に隣接する5園で実施したい。最終的に教育委員会としては、市内全園で幼稚園給食に取り組む。セニアカー購入・バッテリー交換に補助対策を 宮田 高梁地域公共交通会議は、平成26年度を目途に市全体の交通施策のあり方を示すとしているが、それまでの間、福祉・医療バスなどの恩恵を受けられない地域については、期限を区切ってセニアカーの購入やバッ

テリ交換について補助を行うべきではないか。市民生活部長 この補助制度は、始めれば途中で打ち切ることが大変難しい問題であり、介護保険制度と絡めて導入へ向けての検討をさせていただきます。消防団活動における団員の安全確保対策について 宮田 山間地捜索において団員が自身の現在位置を確認するための手段として、GPS、コンパス等の機材を装備する必要

があるのではないかと。消防長 GPS、コンパスの装備については消防本部としても必要なものと認識しており、導入に向けて前向きに検討していきたい。宮田 これからの地域の消防団活動を考えるべく、ある程度ガイドラインが必要と考えるが、消防長の見解を問う。消防長 今後、団と本部の中で、どうあるべきかを煮詰めていきたい。

**問** 市外の高齢者の移住促進を進めるべきではないか

川上博司 議員

**答** 住まいの確保について学生アパートの高齢者向け住宅への改造など検討していく



川上 妊娠はするものの流産・死産を繰り返す女性への不育症の周知と相談体制について、本市ではどのように対応しているのか。

副市長 特に相談日は設置してないが、保健師が日常業務の中で行っている。

治療費の助成については、本市における実情を把握し、不妊治療支援事業の拡充によって新年度より対応していきたい。

都会生活に疲れた高齢者の心をつかむような「人生の最終章は、ぜひとも高梁へお越しください」という高齢者移住促進プロジェクトを計画して実行していくべきではないか。

また、地元大学生を中心に福祉施設などの就職優遇策、婚活対策を実施すべきではないか。

市外の高齢者の移住については、住まいの確保が第一と考えている。空き家、空きマンション

養成奨学金制度を設け、市内への就職促進を図っていきたい。

吉備国際大学は、まちのシンボル

**問** 災害時における地域局の職員対応は？

柳井正昭 議員

**答** 防災計画見直しの中で体制づくりを進める

災害時における地域局の職員配置について  
柳井 この問題は既に市の防災計画の中で検討され、職員配置等も決定されていることは承知しているが、災害時の実態を見たときに一抹の不安を感じているという市民の声が私には強く心に残る事になった。災害時の対応として、それぞれの地元で精通した職員が、地元で対応するような指令は出せないか。



台風によって増水した島木川

総務部長 来年度に向け見直しを検討している地域防災計画、市の防災計画の中で体制整備を進めていきたい。

柳井 道路の側溝に枯れ木や落ち葉が大量にかかり、側溝をあふれ

人口減少や少子高齢化が進む周辺地域の疲弊と閉塞感への対策について  
柳井 市長は、市政懇談会、まちづくり委員会が出された、市民の意見や声をどのような形で行政施策に反映させているのか。

**問** 合併後の高梁の現状について

大森一生 議員

**答** 今の姿があるべき姿である

近藤市政の三年間を振り返って  
大森 平成の大合併はこの高梁市にとってどうだったのか。  
市長 合併して七年が経過したが、今の高梁市の現状を良かったのか、悪かったのかといえ、今の姿があるべき姿であると思う。

大森 景気低迷、急速な人口減少、少子・高齢化が進み、地域を取り巻く状況は、非常に厳しい状況にある。また、平成の合併後の調査で、中心地より離れば離れるほど人口減少率が大きくなっているというデータもある。そのような状況の中、今の倍の新庁舎が建設されるようとしている。六千

平方メートルを超える市庁舎が必要なのか、必要でないのかといったことに関しての、公の議論が必要ではないのか。  
市長 これは標準的な数字であり、将来の職員数、市民サービスの需要に対応している。また、新庁舎はシンボリックなものであり、防災の拠点となる。市民の満足度を何で計るかといえ、個々で違ってくる。我々職員も市民である。それには市民の力、

コミュニティの力が必要である。  
大森 市民の力、コミュニティを結集するには、行政が身近に感じられなければならない。ならば、そのような六千平方メートルを超える大きな新庁舎を建てるのではなく、現在の大きさか、もしくは少し大きいものにし、その代わりに旧川上郡内に分庁舎もしくは支庁舎的な機能を持たせたものを設置し、そこに副市長的な人員を配置し、より

地域に密着した施策を展開するほうが、持続可能性のあるまちづくりにつながるのではないかと。  
市長 その考えは、地域の二極化につながり、行政の一体化にはつながらない。そういった考えより、もっと身近なところで行政を感じていただける施策の方が重要である。

**問** 産廃処分場問題について

宮田好夫 議員

**答** 関係する自治体と連携して建設に反対する

産廃問題について  
宮田 吉備中央町に計画された安定型の産廃処分場は、浸透水の放流場所を川の上流へ変更した事前計画が県に提出されているが、市はどのようなように受け止めているのか。  
市民生活部長 変更点は処分場から出る浸透水をポンプで佐与谷川の上流へ送った後、排水するようになっているが、水の浄化設備が設置されない安定型処分場においては、下流域の環境汚染の

リスクは何ら変わらないと考える。よって市としても、この産廃処分場建設に反対である。  
宮田 下流域住民で組織する「佐与谷川を守る会」では、今後県や吉備中央町を初め、高梁川流域の自治体へ建設反対の要請行動を行う予定である。市としても同様の行動をお願いしたい。  
市長 今までも機会あるごとに関係する首長に話をしている。計画地から出る水は高梁川に合流す

ることから、総社市にある県の水道企業団から給水を受けている自治体へも働きかけを強める。  
※この産廃処分場の計画地は吉備中央町ですが、計画地を囲むように佐与谷川が高梁側に流れ、有漢川を経由し高梁川へ合流しています。全国の事例にあるように、処分場に有害物質が混入したなら、下流域に暮らす高梁市民に対して甚大な被害が発生することになります。



産業廃棄物最終処分場計画地

吉備中央町大村地区 採石場跡地

反対看板の設置



駅東に整備された駐車場

●委員 日本国置かれていた国際的な立場や代替エネルギーが確立されていない状況下で、原発からの撤退だけを求めるのはいかがなものか。

●委員 福島原発の事故で、原発の持つ重大な危険性が明らか

**総務文教委員会の審議のあらまし**

議案第98号 「平成23年度高梁市一般会計補正予算(第3号)」

●委員 備中高梁駅東の元仮庁舎跡地の駐車場整備に関わる施設整備費補助金について詳しい説明を求める。

◆執行部 今回、駅東の元仮庁舎跡の市有地を高梁市観光協会へ貸し出

## 委員会報告

し、概ね2年間、市民の方に駐車場として利用してもらうための初期投資分の補助金として150万円を計上している。

料金については、できるだけ低料金で利用ができるように協議している。

◆執行部 旧市町を対象とした地域づくり基金については、地域の特性を活かした様々なものがあり、合併後10年間は旧自治体で活用するということが合併協議会で確認されていた。このたびの基金については、旧市内と言わず市全域へ広めて、一体感を持った行政推進のためならということになった。これは命に関わる問題であり、原発からの撤退が求められる。よってこの請願は採択すべきだ。

**産業経済委員会の審議のあらまし**

議案第94号 「高梁市産業奨励及び功労者褒賞基金条例」

●委員 この条例は、旧高梁市内が対象だったものを全域に拡充するということであるが、今回の条例制定に至る経緯などについて詳しい説明を求める。

**市民生活委員会の審議のあらまし**

議案第97号 「高梁地域事務組合規約の変更について」

●委員 執行部の本会議でのこれまでの答弁を聞いてみると、あらかじめ加茂川町分のごみを受け入れるという流れが感じられる。合理的に広域的な処理を行っていくという視点が必要ではないか。ごみの減量化に向けて



だいた。地域づくり基金の中でも、個人、団体の表彰に充てられる基金については、10年を待たずに順次対象を全市へ広げているところである。

◆執行部 高梁市が受け入れるということでは、一部事務組合の構成団体として対象業務を一体となつて共同処理していくのが基本であり、本来の姿になったと考えている。ごみの減量化については、高梁市では昨年度「一般廃棄物処理計画」を策定し、今後10年間の削減目標を定めている。吉備中央町においては、この計画は策定されていないが、高梁市の目標に準じて早期に策定していただくよう協議をしている。

●委員 将来的に一般廃棄物最終処分場をどこにするのかという問題については、お互いが対等な立場で考えていく必要があるのではないかと

今回ごみを受け入れることになれば、将来的には、し尿も受け入れていく考えはあるのか。

◆執行部 最終処分場については、一部事務組合としてやっている以上責務は均等であり、更新等が必要な場合には、地域を平等な目で見えて適地を選定していくことが必要であると考えている。し尿については、現在の施設では受け入れて処理する能力を持ち合わせないため、難しいと考えている。



クリーンセンターのごみ焼却処理施設

## 常任委員会管内視察報告

産業経済委員会は、11月22日(火)成羽町下日名に企業誘致した成羽ポトリ(株)成羽GPセンターの施設内を見学しました。また、旧城南高校川上校地の農業試験研究施設とアグリテクノ矢崎(株)備中工場を視察し、ゲル種子の製造及び農業機械の組み立てについて関係者から説明を受けました。



成羽GPセンターで説明を聞く委員

## 管外視察報告

- 市民生活委員会 平成23年10月19日(水)～20日(木)
  1. 佐賀県小城市…地域公共交通について
  2. 佐賀県嬉野市…地域公共交通総合連携計画について
- 産業経済委員会 平成23年10月20日(木)～21日(金)
  1. 京都府亀岡市…中山間地域等直接支払制度事業について
  2. 兵庫県篠山市…観光まちづくり戦略について
- 総務文教委員会 平成23年10月26日(水)～27日(木)
  1. 佐賀県武雄市…電子図書サービスなどについて
  2. 佐賀県伊万里市…伊万里市民図書館について
- 議会運営委員会 平成23年11月9日(水)～10日(木)
  1. 福岡県田川市…議会運営について(予算の増額補正可決に至る経緯について)
  2. 福岡県春日市…議会運営について(定例会の運営について)
- 新庁舎建設調査特別委員会 平成23年11月24日(木)～25日(金)
  1. 高知県四万十市…新庁舎建設について
  2. 愛媛県西予市…新庁舎建設について

## 問 統合小学校の教員の加配、増員を

長江和幸 議員



## 答 県教委へ強く要望する

**教育行政について**

長江 過小規模の学校統合はなぜ必要か。子どもの目線に立って、そのメリットを聞く。

教育長 過小規模校は個々に応じたきめ細かな指導が行われやすいメリットもあるが、児童数が少ないため、相互に切磋琢磨する機会が生活面・学習面で少ない。グループでの学習や集団で行う運動競技の経験が得られない。また、教頭、養護教諭、事務職員が未配



地域住民とともに(有漢中学校運動会)

置となり、学校運営にも影響がある。

学校統合のメリットは、このようなデメリットを解消することができ

長江 湯野小学校、平川小学校が富家小学校と統合しても児童数と学級数の推移をみると、複式学級が学年によっては回避できない。

教員を加配、増員して単式学級を実現すべきではないか。

教育長 県教育委員会へ統合に対しての教員の加配、複式学級の解消を強く要望し、単式学級を実現するよう努力する。また、市教育委員会としても非常勤講師等の配置に

よる最小限の対応を考慮する。

**備中やすらぎの里多目的広場について**

長江 多目的広場は既存の施設であり、現在、備中地域局の職員が管理している。職員数も年々減員され、十分な整備ができていない。スポーツはまちおこしや交流人口の増加にもつながり、経済効果も期待できる。知事はスポーツ振興の条例例を制定し、スポーツ立県を宣言している。追い風

のって合宿施設や硬式野球に対応できる外野フェンスやナイター設備を備えたグラウンドに改修をしてはどうか。

教育次長 本市ではスポーツ施設を資源ととらえ合同合宿や交流合宿を推進している。本市の体育施設の有効な活用も見込まれる。多目的広場の管理についても統一して考えていく。

## ホットな話題

FC高梁吉備国際大学シャルムは、第20回全日本大学女子サッカー選手権大会（全日本インカレ）において、3位という素晴らしい成績を収めました。

今回、まちのホットな話題として、高梁という名前を全国に発信するFC高梁吉備国際大学シャルムの太田監督に寄稿していただきました。



選手権大会 準決勝

(平成 24 年 1 月 3 日：東京西が丘サッカー場)  
吉備国際大学 1対1 日本体育大学  
PK  
1-4

準決勝PK合戦の末、涙した。2011年は、チャレンジリーグの優勝、国体3位の悔しさ、全日本女子選手権でライバル高槻に快勝、なでしこリーグ浦和に3-4の善戦とこの1年でチームは段階的に成長してきた。集大成であるこのインカレで、1人1人が力を発揮して吉備大らしい献身的なサッカーを表現してくれた。そして観戦に来られた1500人を魅了した。

試合終了直後、そのまま3位銅メダル表彰式記念撮影に臨んだ。泣き崩れず、悔し涙をこらえながらも、これが最後の大きな大会だった4年生の尾山と池田が気持ちを切り替えて笑顔を見せると、周りの選手たちもそれに呼応して、全員がカメラに向かって微笑んだ。最後は笑って帰ろう。そう聞こえるシーンが、とても清々しかった。

2012年はインカレの悔しさを胸に、「なでしこリーグ昇格」そして悲願の「インカレ初優勝」に向けて前進して行きます。

2011年、地域の皆様には大変お世話になりました。今後もFC高梁の活動にご支援とご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

FC高梁吉備国際大学シャルム  
監督 太田真司

## ようこそ高梁市へ

本市の行政調査のため、次の市、町議会が来庁されました。

- ☆10月18日 富山県高岡市 歴史まちづくりの取り組みについて
- ☆10月21日 長野県塩尻市 高梁市観光タクシー運行補助事業について
- ☆11月9日 愛媛県久万高原町 榮農王国「山光園」について
- ☆11月17日 愛媛県大洲市 定住促進事業について

## 編集後記

今年の十二支は辰ですが、「漢書 律曆志」によると「振(しん)」で、その意味は草木が盛んに成長し形が整った状態を表すと解釈されています。過去の出来事では1964年の東海道新幹線開通・東京オリンピック開催、1988年には瀬戸大橋開通・青函トンネル開業など大型事業の完成や、2000年にはシドニーオリンピック女子マラソンで高橋尚子が金メダル、白川英樹氏がノーベル化学賞受賞など明るい出来事がありました。今年は振の年になるようお願いしながら、議会だよりも創刊して3年目、振を目指して努力していきます。

宮田 好夫

## 贈らない! 求めない! 受け取らない!

### 寄付行為等の 禁止について



公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄付行為等を行うことは禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に暑中見舞いや年賀状を出すことも禁止されています。

また市民から市議会議員に対して、寄付を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

委員 長	川上 博司
副委員 長	宮田 公人
委員	三上 孝子
委員	小林 重樹
委員	森田 伸一
委員	内田 大治
委員	宮田 好夫

### 【議会広報調査特別委員会】

### ☆ご意見はこちらまで

#### 高梁市議会事務局

高梁市松原通2043  
TEL 0866-21-0276